



一言の重みを

校長 浅川 宏

先の運動会には、多くのご参観をいただきありがとうございました。オリンピック・パラリンピック教育において「運動・スポーツに親しむ」「自己実現」「社会貢献」「共に生きる」を育てたい資質・能力として取り上げ、運動会にてその取組の一端を観ていただきました。温かなお声かけにより、子どもたちはさらなる目標をもって進めていく励みになりましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

心の状態を声で分析するアプリが開発されたというニュースが4月下旬に伝えられました。電話等の通話で発した声を解析し、本人も意識しない自分の心の状態が目で見られるという仕組みです。(東京大学 大嶋紗幸 氏) 研究によりますと、人間が緊張すると声が上ずったり、固まったりするのは、脳がストレスを受けると神経を通じて声帯にシグナルを送る結果だと言われます。このことを利用し自分ではコントロールできない不随意の変化を声の周波数の変化から捉えて、感情を「平常」「喜び」「怒り」「哀しみ」に分け感情成分が声にどれ位の割合で含まれているか判断するのだそうです。相手のことを理解したいと思うのは、いつの時代にあっても、また誰もが願うことです。それだけに心の状態を可視化することで理解を深めようという試みが進みます。

一人では生きられない人間にとって人との関わりは不可欠です。それだけに一日としてコミュニケーションを取らずに過ごすことが不可能な人間にとってコミュニケーションの大切さは言うまでもありません。そこにあって関わりたい、相手を理解し、自分のことも理解してほしいという人間本来の願いは、どんなに便利な通信手段をもって代わることができないと言えます。

それだけに私たちが日々発する言葉の意義や重みを意識したいものです。そのことと同時に、見えないもの、見えにくいものを感じる心の存在を意識することに心を傾けたいと考えます。ものの豊かさがとかく心の豊かさを阻害してきた歴史の中で、今ものを通して見えにくい心の存在を明らかにし、その理解に向けた研究が進むことは、見えないものの世界の意味と存在を見つめ直す機会でもあります。

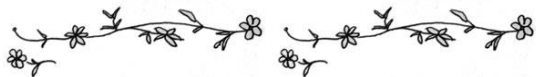
豊かな関わりを支え、心を通い合わせる大切さを日々の挨拶を始め「ありがとう」「ごめんなさい」など一言の重みを意識した生活習慣の定着によって周りに関わる力を確かなものにしていきたいと考えます。言葉は心と言われます。一言の意味や意義を改めて意識し、心のふれあいを通して理解し支え合うことの大切さを学び取って日々の生活に生かしていきたいと思えます。

今朝、学校に向かうお子様の「行ってきます」の音が、いつものように力強い響きを伝えていたでしょうか。さらに明るく温かな挨拶の音が響き合う学び舎を目指して参りたいと思えます。今月もどうぞよろしくお願いいたします。

また、オリンピック・パラリンピック教育推進の成果を区の研究協力校として平成29年1月16日(月)に幼小合同で発表する予定です。

※平成27・28年度 千代田区教育委員会研究協力校・園

平成28年度 東京都教育委員会 オリンピック・パラリンピック教育重点校



『学力向上の取組について』

本校では、児童の学力を向上させるために様々な取組を行っています。そのいくつかをご紹介しますと思います。

まずは、朝学習です。火曜日と金曜日の8時20分から15分間を活用し実施しています。火曜日は、「国語タイム」として、図書ボランティアの方に読み聞かせを行っていただくとともに、漢字練習や言語事項に関する学習をしたり、教科書の教材以外の文章問題を解いたりしています。金曜日は、「算数タイム」として、既習事項の復習や現在学習している内容の定着を促す計算プリントに取り組みます。

また、主に土曜日の授業時間を用いて「東京ベーシックドリル」を実施しています。ベーシックドリルとは、児童の基礎的・基本的内容の定着を図るために東京都教育委員会が作成した問題集です。前年度までの内容に立ち戻った問題に児童一人一人が取り組み、つまずきや誤りに応じてきめ細かく個別指導を行います。

さらに、児童の実態に応じた指導改善を図っています。5月上旬には、2年生以上の児童に「達成度調査」を実施しました。これは、前年度の学習内容が一人一人にどれだけ身に付いているか調査するものです。今年度の調査結果を基に、課題のみられる学習内容を効果的に指導するための方法を校内で検討し、夏にその方策をまとめました。1学期末、通知表とともに個票をお渡ししましたので、お子さんの達成度を既にお目通しいただいていることと思います。ホームページには、本校児童の傾向を分析し、課題に対する具体的な「指導改善プラン」が掲載されていますので、ご一読いただければ幸いです。

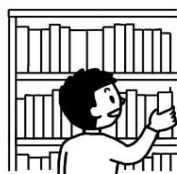
学力向上委員会担当 樋口 智子

『本と親しむ～読書旬間～』

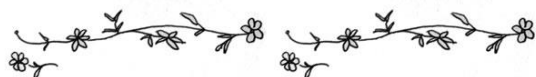
お茶の水小学校では6月6日(月)から17日(金)春の読書旬間、11月7日(月)から18日(金)秋の読書旬間、2月13日(月)から24日(金)冬の読書旬間を行っています。読書旬間のねらいは、読書のジャンルを広げ、より読書に親しみ、さらに読書意欲を喚起することです。

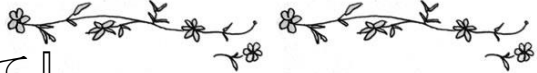
春の読書旬間では1、2、3年生に向けて図書委員が読み聞かせの出前や、司書の先生によるお話会を実施しました。司書の先生によるお話会では、低学年・高学年で内容を変えて、千代田図書館から応援の方にも来ていただきました。

秋には「先生たちのお話ランド」や「夏目漱石暗唱コンテスト」、冬は「校長先生のお話会」や「音読名人」なども実施します。今後も司書の黒田裕美先生と協力して、より一層、読書活動を充実してまいります。



図書担当 白井 順子





『算数少人数習熟度別指導について』

3年生から始まる少人数算数の学習は、自分で問題を考えたり、考え方を発表し合ったり、プリント等を使ってたくさんの問題に取り組んだりします。コースによって少しずつ取り組む内容は違いますが、それぞれの教室で、どの子も一生懸命に学習に励んでいます。

3年生から6年生まで、学年を越えて指導していると、それぞれの学年の学習内容がばらばらではなく、全てが繋がっていることに気がきます。例えば、かけ算・わり算は学年が進むと整数だけではなく、小数や分数でも表しますが、基となる九九は2年生で学びます。また、九九が身に付いていると、3年生のわり算の学習にもスムーズに取り組むことができます。大きな数の学習では十進法の考え方が基になりますが、これは1年生の数の学習が基になります。そのように考えると、今、学習で困っている子どもたちに対して、どの時点でつまづいているのかを見極めることが大切で、場合によっては前学年の学習に戻って進める方が効果的なこともあります。そこをフォローするのが1学期の学校公開でご覧いただいた東京ベーシックドリルです。できたものはすぐに採点し、間違えたところはその場で指導するようにしています。本校では、主に土曜授業日に取り組んでいます。

高学年になると学習内容も複雑になり、考え方を問われる問題も増えてきます。「先生、ここよく分からないから教えて。」時間が終わっても粘り強く取り組む姿を見ると、とても嬉しい気持ちになります。



算数少人数担当 後藤 智子

『日本の伝統文化に触れる活動（書写）』

「日本の伝統文化に触れる活動」として、国語の時間に、3年生より書写の学習を行っています。学習のねらいは、「書道を専門とする方から学び、書道の心得と技を習得すること」と「書道に親しむ心を持ち続けるとともに、書くことを通して学んだことを生かそうとすること」です。本年度も、3年生を指導してくださる先生は、明治神宮書道会審査委員をお務めになっている横田游心先生です。先生には筆の持ち方から手入れの仕方はもちろん、書写の「い・ろ・は」の「い」から教えていただいています。

第一回目の学習では、道具を初めて手にする子どもも多く、授業を心待ちにする気持ちが担任にもひしひしと伝わってきました。初めて硯に墨汁を入れる作業にも緊張感が見られました。いよいよ半紙に初めての筆入れをし、「一」という文字を書きます。始筆、終筆、右上がりを書くことなど、注意することは数多くありましたが、子ども達が初めて書いた文字は、個性あふれる伸び伸びとしたものになりました。墨をこぼしてしまったり、手を真っ黒に汚してしまったりとハプニングもありましたが、有意義な時間を過ごすことができ、書写を意欲的に取り組もうとするきっかけになりました。

緊張感に包まれた教室で、真剣な姿勢で取り組むことを通して、書写の楽しみや上手に書けたときの喜びなどを感じ取ってもらいたいと思っています。そして、昔から伝えられる日本の伝統文化の素晴らしさに気付き、守っていこうとする気持ちをもつことの大切さを知ってほしいと望んでいます。

3年担任 関口 亮治 川地 康之



10月の行事予定表

千代田区立お茶の水小学校
学校便り
平成28年9月30日

日	曜	時程	行事	スクール カウンセラー		発達支援 アドバイザー	わくわく
				都	区		
1	土		都民の日				
2	日						
3	月	B時程	☆全校朝会 校外学習(2年) 卒業アルバム写真撮影(☆6年)				○
4	火		☆保健指導 マナーの日 ソチ市代表団訪問① 日光前日健診(6年)	○			○
5	水		A時程4時間授業 日光移動教室(始:6年) ソチ市代表団訪問②(☆5年)				○
6	木		スポーツ集会 書道(3年)				○
7	金		日光移動教室(終:6年)		○		○
8	土		土曜授業日 ◇ふれあいスクール ◇科学教育センター⑦				
9	日						
10	月		体育の日				
11	火		安全指導日 歯科(1・2年) 校外学習(2年)	○			○
12	水	B時程	歯科(3・4年)			○	○
13	木		ファミリー班活動 歯科(5・6年) なかよし会(1年) 書道(3年)				○
14	金		社会科見学(☆4年)		○		○
15	土						
16	日		◇区民体育大会				
17	月		☆全校朝会 孺恋前日健診(5年)				○
18	火		孺恋自然体験交流教室(始:5年) なかよし会(4年) 食物アレルギー面談	○			○
19	水	B時程	茶道(☆6年) ◇給食試食会(全学年)				○
20	木		児童集会 孺恋自然体験交流教室(終:5年) 和太鼓(3・4年)			○	○
21	金		ブラインド囲碁体験(4年)		○		○
22	土						
23	日						
24	月	B時程	☆全校朝会				○
25	火		誕生日給食				○
26	水	B時程	学校公開1 華道(☆5年) 食育向上プラン(5年)				○
27	木		学校公開2 食育朝会 和太鼓(3年)				○
28	金		4時間授業(全学年) ◇就学時健康診断		○		
29	土						
30	日						
31	月		☆全校朝会 5時間授業(1~4年) 委員会(卒業アルバム写真撮影)				○
11月							
1	火		<トライ&チャレンジ月間> マナーの日	○			○
2	水	B時程	茶道(☆6年)				○
3	木		文化の日				
4	金		4時間授業(1~3年) 保健指導		○		○
5	土						

☆は標準服登校です。 ◇は教育課程外の活動です。

*土曜授業日はB時程の4時間授業です。

*避難訓練は予告なしで行うため、載せていません。